

2月 6日(木曜日) チッパー処理と「シイタケの菌打ち体験」の準備

【参加者;池本、浦野、越智宏、梶川、木谷、杉、鈴木哲、鈴木明、中、森浜牧

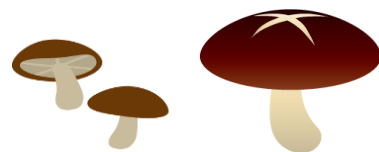
計 10 名】

今朝の冷え込みでモリメイトフィールドのぬかるんだところには霜柱ができていた。ザクザクとした音とその感触が楽しくてつい踏みつけた子どもの頃を思い出した。今日は踏みつけるのではなくこの美しい自然の現象をカメラでパチリ。ところで、シモバシラというシソ科の植物があるらしい。



先週に引き続き、チッパー機で残材の処理を行った。今日でチッパー君の仕事も終わり、引き上げる途中の散策路で残材を見つけまた一仕事。よく頑張ってくれました。

この後、シイタケランドの整備、原木に着ける番号札、原木に種菌を打ち込むときの目印用の物差しなどを準備して、この日の作業を終えた。



2月13日(木曜日) イベントの準備と枯れマツ除伐・自己紹介

【参加者:池本、浦野、越智宏、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、中、阪野、森浜学、森浜牧

計 13 名】

寒気が居座り、今日も寒い1日となった。

職員の坂田さん・竹村さんを手伝い、枯れマツの除伐を行った。

その後、「シイタケの菌打ち体験」の準備をした。菌コマを60個ずつ袋詰めし、原木を2本ずつセットにして16組作った。

思った以上に早く終わったので、ビジターコテージの研修室でモリメイト全員の自己紹介を行った。今の状況、生き立ち、趣味、モリメイトに入ったきっかけ、夫婦のなりそめ等々質問も飛び交い大いに盛り上がった。モリメイトの知らない一面も知ることができるいい機会となった。



阪野さんがモリメイトに参加



2月16日(日曜日) 「シイタケの菌打ち体験」開催

【参加者;池本、浦野、越智宏、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、中、計10名】
心配していた雨も上がり、寒さも和らいだ朝。16組44名の参加者を迎え、「シイタケの菌打ち体験」を開催した。

タイムスケジュールなどの説明



A班は 菌打ち
→園内散策
B班は 園内散策
→菌打ち
の順にします

シイタケ原木栽培の話



原木、菌駒、ほだ木の管理、
発生の時期について話します

園内散策

シイタケの原木にできる木を探しながら散策しましょう



菌打ちの仕方を説明

軍手は外してください



菌打ち用の物差しの赤と青の目印のところで穴をあけてください

雑菌が入ったり打ち残しがあるといけないので一筋穴をあけたら木槌で菌コマを打ち込んでいってください

菌打ち体験の様子

ドリルは垂直にして穴をあけるんだね



コンコン
上手だね



トントントンって音が変わったよ

中まで入ったということだよ



2月20日(木曜日) 枯れマツ除伐とモリメイトの菌打ち

【参加者;池本、浦野、越智宏、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、阪野、森浜学 計11名】

初めに、6番東屋近くの枯れマツを除伐した。案内板に当たる可能性があるため取り外してから行うことにした。散歩をする人が多い園路なので、作業中の看板を立て、迂回をお願いする係をモリメイトが担当し細心の注意を払った。みんなが見守る



中、高いところも何のその、するすると梯子を上っていく竹村さん。除伐のタイミングを見て、チルホールを動かす坂田さん。二人の息もぴったりで見事に思い通りの方向に倒れていった。枝を切り、片付けて作業終了。その後、サブコテージ近くの枯れマツを3本除伐した。



午後からは、シイタケランドに置く原木に菌打ちをした。2003年のモリメイト発足時から、ナラ枯れ、倒木、間伐などの森林整備で出たコナラの原木で、シイタケの原木栽培を続けている。先輩からの伝授もあり、毎年シイタケは順調に発生し、「シイタケの菌打ち体験」は人気のイベントとなり盛況である。



菌打ちが終わった後は、シイタケランドに原木を運び、シイタケ菌を活着させるために仮伏せを行った。寒さと乾燥に気を付けながら梅雨前までこの状態で置いておくことになる。

6月になるとシイタケ菌を蔓延させるために本伏せと言って原木を立てかける作業が待っている。また、梅雨と秋雨のころに天地返し(木の上と下をひっくり返す)も行い、来年の秋のシイタケの発生を待ちたいと思う。

モリメイト会議

- ・森林ボランティア活動支援事業実績報告書の検討
- ・シイタケの菌打ち体験を終えての感想・反省点などを出し合う
- ・事務所から「枯れマツの除伐作業が職員とモリメイトの共同作業によりはかどった。」
これからもお互い意見を出し合い、協力していきましょう。



2月27日(木曜日) 枯れマツの除伐と園内散策

【参加;池本、浦野、越智宏、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、中、森浜学、森浜牧 計12名】



園内を散策しながら枯れマツを見つけ、除伐。だいぶ少なくなっているとは言え、まだまだ松枯れによる被害はつづいている。

まだハルリンドウの花の開花は先になるが、いつもの場所の落ち葉を除くと、小さな芽吹きがあった。コバノミツバツツジの花芽も膨らみ、梅の花が1輪2輪咲き始めていた。春はそこまで来ていると感じられる園内散策であった。

阪野さんは3月から公園の職員に

